

地域とのタウンミーティングの概要

団体名 川越市自治会連合会芳野支会

開催日 令和7年8月2日（土）午後2時から

会 場 芳野公民館 会議室



意見交換の概要

1 道路の舗装について

発言者

雨が降った後に水が溜まり、高くはねた水しぶきで濡れたことがあると聞いています。通学路の補修を重点的にお願いします。

建設部長

道路の舗装については、日々点検を行い、発見次第部分的ではありますが補修を行っております。児童生徒が通学中に水しぶきが飛ぶということで、今後重点的にパトロールを行い、暫定的な保守で対応してまいりたいと考えております。

路面修繕につきましては、修繕計画に基づいて計画的に対応してまいりたいと思います。

路面の穴や陥没についてお気づきの際は、川越市の公式 LINE アカウントから担当課へ通報することができますので、ご協力よろしくお願いいたします。

市長

道路の穴等見つけた際には通報をお願いしたいということと、私自身自転車やベビーカーで歩く機会も多く、フレンドリーといった観点からも、自転車で走りやすい道路というところを目指しておりまして、今後快適な道路環境整備ということも努めてまいりたいと思っております。

2 安全確保に向けた防犯カメラ設置について

発言者

全国的に犯罪が多数発生しており、地区でも車上荒らしや自転車盗難などが増えてきている気がしております。警察の捜査でもいろいろな場所の防犯カメラが必要だと思いますが、地区には防犯カメラのあるお店等は少ないです。

防犯灯については補助がありますが、防犯カメラの設置や、防犯カメラが稼働しているとのシール、ダミーの防犯カメラといった対策に対しての補助金はどうなのでしょう。

また、外国人が増えてきていて、自治会に入っておらず意思疎通が取れません。工業団地もあることから、自転車通勤の外国人もかなり通りますので、防犯カメラを早くつけたいと提案しております。

市民部長

刑法犯の認知件数がコロナ禍で減少したのがまた元に戻っている状況の中、地域の方々や自治会長様から防犯カメラについてお問合せをいただいております。

市としまして、「川越市防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」等を整備しまして、相談や問い合わせに対応しているところです。

市の直営の防犯カメラは駅周辺のみとなっており、地域の防犯カメラ設置のご要望をいただいておりますが、市で設置するにはかなりの設置費用やランニングコストがかかることから、自治会等団体へ防犯カメラ設置の補助ができないか検討を進めているところです。

あと、ステッカーやダミーカメラについては、現在防犯カメラと同様に補助は行っておらず、啓発にとどまっている状況です。

市長

外国人が自治会に入らず意思疎通ができないというお話がありましたが、そのような細かい問題が市内にいろいろあると思っており、そろそろ本腰をあげて、丁寧に対応していく必要があるだろうと思っております。

外国人の犯罪率が高いということはありませんが、文化や生活ルールの違いを相互に理解できていないという状況があるのかと思っております。うまく対応していかなくてもはならないと考えておりますので、貴重なご意見をいただいたと思って今後取り組んでいきたいと思います。

3 お成り街道の歩道整備

発言者

お成り街道の歩道は小学校から北田島までですが、県道川越栗橋線まで伸ばしてもらうことを要望します。

お成り街道は工業団地へ向かう車で交通量が多く、スピードもでております。歩道がないところの学生・高齢者等の自転車利用者の安全が心配です。また、新消防庁舎ができて緊急車両も多くなることから、緊急車両、一般車両や歩行者の安全確保のため歩道整備をお願いします。

また、草が繁茂して見通しが悪いので、整備や草刈り等の対応をお願いします。

建設部長

お成り街道の歩道未整備の一部については、新消防庁舎建設に伴い歩道整備をする予定がありますが、残りの部分については、沿線の事業者や地元との調整がとれれば道の端の水路を有効利用しながら歩道整備という計画を考えております。予算化できるまでは、歩行者の安全を考えながら効果的な策を講じられるよう、安全対策を検討してまいりたいと考えております。

水路の除草につきましては、一部業者が決まっており、対応してまいりたいと考えております。

毎年同様の状況ですので、極力草が生えないような形を、どのようにできるかどうか検討しながら進めていきたいと思っております。

市長

地域の実情をお聞かせいただきましてありがとうございます。今後も計画的にこういった課題解決を図っていききたいと思います。

4 工業団地の拡大について

発言者

工業団地の拡張計画について、当初の計画より範囲が拡大しているようですが、土地所有者への説明はあったようでありますが、地域の居住者への説明が、市からも業者からもありません。

市としては今後どうなっていくかということを、自治会に説明していただけるのかどうかお伺いしたいです。

産業観光部長

川越工業団地、川越第二産業団地につきましては、埼玉県企業局が事業を実施し、市でも用地取得や造成、企業の入居等行ってきました。今回の拡張につきましては、事業を計画しているのが民間の事業者になります。

工業団地として活用するには、現在農地であるところを工場が建てられるように農地転用の手続きを行いますが、それにはかなりの年数がかかります。また、川越工業団地は、都市計画で市街化区域の工業地域となっていますが、拡張する部分は調整区域ですので、今後どうするのかは現在のところまだ決まっておりません。

どのような形で工場が建つような土地に変えていくのか、といった部分で、一番時間がかかるのが、農地を変える農林調整になりまして、年単位でかかります。併せて都市計画をどうするのか整った段階で、実際に事業が動き出すことになります。

都市計画をどのように進めていくのかといった観点では、市や県から説明することになりますが、現在はまだ整っておりませんので、正式な説明会ができる状況になっておりませんが、皆様気になるところであるかと思しますので、お尋ねいただければ出せる範囲のお話はしていきたいと思っております。

市長

地域の方としっかり協力関係を気づきながら、土地開発を進めておりますので、熟度がまだという話ですが、今後ぜひご協力賜りたいと思っております。

5 川越農村地域の人口減少と高齢化の施策について

発言者

人口減少が続いていくと思いますが、特に農村地域の人口減少に関してどのようなお考えなのか、何か施策があるのかお聞きしたいのが1つ目です。

二つ目は、農業従事者にどのような支援をしていただけるのかお話を聞きたいと思っております。

芳野地区の実態のお話をさせていただくと、自治会に加入されない方が多いです。

人数が減少している中で、地域の公民館の維持管理や神社の建物やお祭りにお金がかかり、自治会で負担しているため自治会費が高額になっております

ぜひ公民館や神社の維持管理等に市が補助して管理するという考えをお願いしたいと思います。もし施策や対応があればお聞かせ願いたいと思います。

総合政策部長

芳野地区の人口につきましては、直近10年で3～5%位ずつ減少している傾向にあります。10年後がどうなるか推計は難しいですが、来年度から始まる第5次総合計画の中では、全市的には10年間で1万人ぐらい減るのではないかという見込みを立てております。そのような状況の中でも下げ幅が緩やかになるように、子育て施策によって子育て世代の転入を増やすといったことを行っていきたいと思っております。

また、学校や公共施設の維持にも影響は出てくると思っております。小中学校につきましては、適正配置のための審議会を令和6年度に作っており、議論を進めている状況でございます。建物の更新をする場合、例えば古谷地区の古谷第2保育園と古谷保育園の統合のように、公共施設の統合も今後はあり得ると考えております。ただ、統合ありきではなく、地元の皆さんのご意見や人口見通しといったところを総合的に判断した中で丁寧に進めていかなければいけないと考えております。

人口が減っていく中でも、例えば川越は私立の小中学校、高校が多く、特に高校が多いので、そのような教育が充実しているという強みを活かして、子育て世代が転入して定住する、また工業団地の拡張といった形で川越に働きに来る方を増やすといったところで総合的に対応していきたいと考えております。

産業観光部長

農業従事者への支援の関係ですが、農業につきましては、全国的に高齢化や後継者不足が問題になっております。

若い世代の方が農業に取り組んでいただくために、資金面や技術面での援助が必要だろうと考えております。そこで、経営が不安定な就農初期段階の青年就農者の方々に対しまして、就農意欲を喚起する、農業の定着を図っていくため、経営開始にかかる資金の援助を実施しております。その他にも、県の農林振興センター、農業委員会、などと連携いたしまして、経営開始に必要な技術の習得、農業関係のサポートといったものを行っております。

経営規模の拡大を目指す認定農業者の方、認定新規就農者の方に対しましては、規模拡大に伴って必要となる農業機械の費用に対する補助も今年度から開始しております。

川越市の場合、あまり規模が大きい兼業農家の方への支援も当然やっていく必要はありますが、若い世代の方々が農業に魅力を感じていただくためには、やはり利益が出せないといけない、そのためには一定規模の農地、効率性が必要だろうと考えておりますので、今お話をさせていただいたような取組をしっかりとやっていきたいと考えているところでございます。

市民部長

自治会の加入につきましては芳野地区だけでなく川越市全体、また全国的な低下の問題がございます。本市の加入率も毎年 1～2%ずつ下がっております。その中で加入率を上げるために、市でもチラシの配布や転入者への自治会加入のお知らせ等でご案内をしているところでございます。

自治会加入率の低下、担い手不足に対する効果的な手当てがなかなか見出せないのが実情でして、各自治会長様が日頃から自治会の魅力、地域の発展のためにご尽力されておりますことに感謝申し上げます。

しかしながら、加入率の低下は食い止めないといけないということで、自治会の中でも、役員の重みの分散や魅力の発信、デジタルの活用など工夫されている自治会の情報を他の自治会にも提供していくことができればと考えております。

市長

日本を良くしているのは自治会であると聞いて、まさにそうであると思い、丁寧に地域づくりをしていただくことで社会全体がよくなっているというところだと思いますので、自治会の衰退は非常に課題であると思っております。

苦しい実情をお聞きし、対策についてきちんと考えないといけないと思っております。

発言者

自治会活動につきましては、行政の方から負荷が軽減するような施策をお願いしたいと思っております。あと、農業については、待ちの姿勢ではなく、こういうメリットがある、こういう助成があるというのを若い世代に発信していただきたいと思います。

人口減少につきましては、農村地域特有の実態があると思いますので、おっしゃった施策は川越市全体ではマッチすると思いますが、この芳野地区にどうやって人を呼んでいくのか、メリットがないと人口が減る一方ですので、そのところもぜひ検討いただきたいと思います。

6 市民センター完成に向けて

発言者

芳野市民センターの建て替えにつきましては、地域の念願の事業で、地域の課題としてどのような形で建て替えをするのか検討してきました。いよいよ工事が着工するということで、建物の計画ができて、利用計画も考えてきているところです。

昨今、人件費や資材が高騰し、さらに高騰していくことが予想される中で、工事費が増額しても、建物の見直しではなく、予算の増額などで対応して、当初の計画どおりに市民センターを完成させていただくことをお願いします。

市民部長

物価や資材、人件費の高騰による予算不足につきましては、事業費はあらかじめ物価上昇分を想定して設定しております。

想像以上の水準で高騰していることもあり、工事請負契約にはスライド制度といいまして、契約締結後に賃金や物価が急激に変動した場合、その分の請負代金の金額を請求できる制度がございます。芳野市民センター整備事業につきましても、そのような状況になった場合には、事業者と協議して対応していきたいと考えております。

令和9年度には供用開始の予定ですが、工事の進捗につきましては、地域にも提供させていただきたいと考えております。

皆さんの悲願から着工となりましたが、施設の完成がゴールではなくて、皆さんにご利用いただいて、より芳野地区が発展することが目的だと思いますので、今以上に皆さんがご利用されることをお願いしたいと思います。

市長

市民センターには共有スペースに児童スペースを設けたり、外にもこどもが遊べるスペースを設けたりできるかと考えておりますが、こどもが来て声がしても暖かく見守り、そしてこどもを育てている世帯を大事にしていきたいというのがお願いでございます。子育て世帯を大事にいただくことが地域の活性化につながると思いますので、よろしくお願いいたします。

7 今後の自治会のメリットやデメリットについて

発言者

以前は農家が多く、まとまっていましたが、他の地域からの転入者も増えて、自治会に入らない人もいます。自治会に入らなければごみゼロで集まることもなく、ゴミの収集場も家を建てたところにあるので既存のところに捨てる必要もなく、自治会に入らないほうが過ごしやすいと考えていることと、こどもが通学班に入って送迎しなくてすむようにその時だけ自治会に入って、終わったら抜けてしまうというように、自治会を都合よく使われているような感じを受けています。

自治会のメリットを浸透させるように頑張ることも大事ですが、他の地域から入ってきて溶け込めるような自治会にしないと、仕方なく自治会に入っている方が多いのが現状だと思います。自治会の今後の活動、もっと周りも受け入れる方もすんなりできるような対策ができればありがたいと思います。

市民部長

自治会加入を促進する有効な手立てがなかなかないのが実情で、自治会からも相談が来ております。

自治会に加入されている方も、役員の負担やメリットが感じられないなど、価値観の多様化やライフスタイルの変化が表れているのが自治会なのかなと感じております。

自治会に入ることに見返り、メリットを求める人が増えていていると感じておりますが、そもそも自治会に入るメリットは、地域のつながり、顔を見ることでの安心感、親近感がありまして、いざというとき助け合える、そのような地域コミュニティだと思います。

それが防犯、高齢者の見守り、こどもの通学の見守りといった活動に繋がっていると思いますが、なかなか有効策はないのですが、うまくいっている自治会もあるので、そのような自治会が、どのような形で役員の役割分担や、あるいは自治会の加入促進をしているのかという情報の共有をしていきたいと思います。

市長

自治会の負担軽減というのを図りながら、自治会負担を重いから嫌だという人をせめて減らせるように、先ほどご意見もありましたので、考えていきたいと思います

8 農地の保全について

発言者

芳野地区は田んぼ中心の農家が多いですが、農業を主にやっている方はわずかで、おそらく9割くらいは他に仕事を持って、農家をやっているのが実態だと思います。

米が足りないと言われていますが、個人的には高齢化した小規模農家が農業をやめて、米を買う側になっているのも原因の1つではないかと思っております。周りでも農家が20数軒から10軒程度になっています。

基盤整備をしないといけないという話はでていますが、水の便や道路の便が悪いと、作付けも難しい。農業ができなくなった時に代わりにやってくれる方もなかなかいない。

そうならないように基盤整備と、兼業農家への支援を積極的にできないでしょうか。

基盤整備を行う場合も、50アールだと小規模農家ではやりにくく、20から30アールだと大規模でも小規模でも対応できるかと思っておりますので、そこも含めて市で積極的に政策が展開できないでしょうか。

産業観光部長

利益がでるには一定規模が必要で、大規模化や集約といった方向にしたいという意向はございます。

一方で、大部分がそれほど規模の大きくはない兼業農家で、その方々が農業を続けられるように何かやらなくてはという意識は持っております。

そこで、取組としまして、農業生産基盤である農業用水路につきましては、土地改良区や地域の耕作者の方々に組織されております水利組合を対象として、整備費の一部を補助しております。また、農業用水路の維持管理や、長寿命化に取り組む地域の活動に対しまして、多面的機能支払交付金といった支援を行っております。

また、小規模兼業農家の方が農業を継続してくため、農産物の販売先の確保が必要と考え、本市では庭先販売や直売所のマップの作成、市ホームページや観光案内所、市民センター等気軽に手に取れる場所での庭先販売のPRを行っているところです。

また、兼業農家は農作業ができる時間が週休日などに限られてしまいますので、短時間で効率よく農作業を進めることができるよう、スマート農業の機械購入、肥料散布用ドローンといったところに補助を実施しております。

効率的な農業が兼業農家の方にも必要になってくると思っておりますので、実際に農業をされている皆様のご意見も伺いながら、環境づくりについて効率的な支援はどのようなものなのか、また、現在の支援も改善していかなければいけないと思っておりますので、今後ともご意見等いただければと思います。

建設部長

道路に関する舗装や砂利等のご要望につきましては、簡単な砂利等の敷設はできる状況ではございますが、農機具によって路肩が崩れ、かえって田んぼを痛めてしまうような状況もございますので、現地確認の上、必要な対応を検討させていただきたいと思っております。

既存の水路整備の工事につきましては、荒川右岸用排水土地改良区が管理する区域では、当該管理者の調整協議の上、検討してまいります。整備の必要な水路がございましたら、要望書を川越市および荒川右岸用排水土地改良区へご提出をお願いできればと思います。

市長

耕作放棄地が増えているという話は聞いております。米の値段が上がっておりますので、収益性が出てくると農業への意欲が高まり、耕作放棄地が減ってくるような状況も見られまして、収益性の確保というところが大事だと思っております。また、その前提となる基盤整備の重要性も理解しております。行政としては手続きや制度面で工夫をして、農家の方の負担を減らしつつ農業への意欲を高めていくということが必要だと思っております。耕作放棄地が増えることはいろいろな問題につながりかねないと思っております。今のいわゆる米騒動は、根本的に米の供給不足ですので、これは国をあげて対策しなければいけない時期にきていると思っております。

農業に対する補助としまして、肥料の3分の1の補助というものを行いますので、ご利用いただける方はぜひしていただきたいと思いますと思っております。

9 用排水路の管理について

発言者

年2回のごみゼロの時に、水路の清掃もしておりますが、高齢化が進んでケガをする方もおり、今後どうしたらよいのか、また、道路の側溝も、蓋がしてあり簡単に開けられないので、どこかにお願いできないかということが、数年前から自治会長の検討課題として引き継いでできております。何か方策があればと思い、お願いいたします。

建設部長

こちらは荒川右岸用排水土地改良区の管理区域のため、利用者が清掃を行うのが基本的なスタンスだと思いますが、皆様高齢化されているということで、今回いただいたご要望を、荒川右岸用排水土地改良区にお伝えさせていただければと思います。

あと道路側溝につきましては、川越市の管轄ですので、泥が詰まっていたり流れなかったりする箇所がございましたら、個別または自治会長様からご連絡いただければ、所管部署で対応させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

市長

本日は地域の実情を踏まえられた、また豊富なご経験おありの自治会長様方から多くのご意見をいただきました。いずれも貴重な意見でございました。これらを踏まえて今後の市政運営に活かしていきたいと思っておりますので、今後ご理解ご協力いただければと思います。